

3. 旺盛で美観のよいグランドカバープランツの草種（技術）			
[要約]			
主な<u>グランドカバープランツ</u>のうち、ヒメイワダレソウ、バーベナ‘花手毬’、バーベナ‘タピアン’、カリブラコア‘イルミネーション’、ニーレンベルギア‘フェアリーベル’、ガザニア、マツバギク、ニーレンベルギア‘モンテブランコ’は、<u>地被速度</u>が速く、<u>地被密度</u>が高く、<u>美観</u>にも優れる。			
研究室名	野菜・花研究室	連絡先	0869-55-0277

[背景・ねらい]

最近、グランドカバープランツが畦畔の省力的管理用植物として注目されている。ここでは、栽培適性面から重要となる地被速度の速さと地被密度の高さを重点に、グランドカバープランツを選定する。

[成果の概要・特徴]

1. 地被速度が特に速かったのは、ヒメイワダレソウ、アークトテカ、ウエデリア、バーベナ‘花手毬’、バーベナ‘タピアン’、カリブラコア‘イルミネーション’、ニーレンベルギア‘フェアリーベル’、トケイソウであった（表 1）。
2. 地被密度が極めて高かったのは、ヒメイワダレソウ、アークトテカ、ウエデリア、コウリンタンポポ、アシズリソウ、スカエボラ‘ブリラント’、薬用ベロニカアプテニア、ツルマンネングサ等であった（表 1）。
3. 開花期間が長く、長期間美観が優れたのは、ヒメイワダレソウ、バーベナ‘花手毬’、バーベナ‘タピアン’、カリブラコア‘イルミネーション’、ニーレンベルギア‘フェアリーベル’、ガザニア、マツバギク、ニーレンベルギア‘モンテブランコ’、スカエボラ‘ブリラント’、フロックス‘ピオリア’、ブルーサルビアであった。
4. 地被速度が「中」以上、地被密度が「やや密」以上、草高が 30cm 以下、越夏・越冬が可能で、開花期間が長い草種は、ガザニア、バーベナ‘花手毬’、バーベナ‘タピアン’、ヒメイワダレソウ、マツバギク、カリブラコア‘イルミネーション’、ニーレンベルギア‘フェアリーベル’、ニーレンベルギア‘モンテブランコ’であった（表 1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 山陽町での 5 月定植の結果であり、秋植えでの生育については未検討である。

[具体的データ]

表1 旺盛で美観のよいグランドカバープランツの草種選定結果

		地被速度 ^{a)}					
		速		中		遅	
地被密度 ^{b)}	密	◎ヒメイワダ レソウ ○アークトテ カ ○ウエデリア	○コウリンタ ンボボ ○アシズリソ ウ ○スカエボラ ○薬用ペロニ カ ○アブテニア	○ツルマンネ ングサ		ヘスベロジギ ス セラステウム 這性ヒメノボ タン モリムラマン ネングサ	メキシコマン ネングサ タイトゴメ セダム（コーラ ルカーベツト） スカビオサ （ブルーダイ アモンド） マルバマンネ ングサ
	やや密	◎バーベナ （花手毬） ◎バーベナ （タビアン） ◎カリブラコ ア ◎ニールンベ ルギア（フェ アリーベル） ○トケイソウ	◎ガザニア ◎マツバギク ◎ニールンベ ルギア（モン テブランコ） ○オスティオ スベルマム ○ディホルホ セカ ○ローマンカ モミール	○セトノジギ ク ○ヘリオト ローブ ○スプレッド リナリア ○イブキジャ コウソウ ○イソトマ ○ペーパー デージー	○フロックス （ピオリア） ○ポテンティ ラ ○ハナヤナギ ロベリア	ヒペリカム・ カリシナム オキザリス・フ ラジリエンス イモカタバミ ブラティア ユリオプス デージー ヒメツルニチ ニチソウ	ダンビエラ リーシマキア アイスプラン ツ ナデシコ シバザクラ フウロソウ スカジオサ・ コーカシカ
	やや疎		ヘレニウム ブルーサルビ ア チェリーセー ジ 這性サルスベ リ			フクシア ストケシア 西洋スミレ クサキョウチ クトウ ルプス・カリ シノイデス	
	疎		アベリア			ヘデラ・ヘ リックス	

a) 地被部径が30cm以上になるのに要した期間 速：～1か月、中：1～2か月、遅：2か月～ b) 株上からみた株冠内に地表が見えた割合 全く見えない：密、～2割：やや密、3～5割：やや疎、5割～：疎、12月13日調査

注) 定植：平成14年5月9日

判定：○（有望）；地被速度「速」「中」、地被密度「密」「やや密」、越夏可なもの

◎（特に有望）；○の草種の有望特性に加え草高が30cm以下、開花期間が長く、越冬可なもの
() 内は品種名を示す

[その他]

試験研究課題：多様な生物機能を活用した快適で安心な促成ナス生産技術の確立

予算区分：県単

研究期間：平成14年度

関連情報等：平成14年度試験研究主要成果「土着天敵の温存場所に適したグランドカバープランツ」